

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和 元 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者		歴史まちづくり推進担当担当課長 高木 明	
歴史-01	重点事業	世界遺産条約登録事業	☒ 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ登録するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究、広報啓発等の再推薦・登録に向けた取組を実施した。 ・世界遺産登録に結びつくコンセプトの再検討の資料とするため、百八やぐらの基礎調査を行った。 ・平成29年度にやぐらの起源をさぐるために行った、龍門石窟研究院(中国)との学術会議等の内容を報告書にまとめた。 ・市民への情報提供として、比較研究報告書や講演会報告冊子を発行した。 ・成果を取りまとめたものを準備状況報告書として文化庁に提出した。 ・市民に対しツイッターによる情報発信を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算	30年度(2018年度)決算	データ区分	01年度(2019年度)当初予算	備 考
人口等のデータ			人口等のデータ		
人 口	176,466人	176,308人	人 口	176,436人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	81,150世帯	81,763世帯	世 帯 数	82,444世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			運営資源状況		
決算値(千円)	8,509	6,740	当初予算(千円)	7,026	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	8,509	6,740	一般財源	7,026	
人員配置数	1.7	1.5	人員配置数	1.0	
人 件 費(千円)	13,434	11,440	人 件 費(千円)	7,855	
事業費			事業費		
総事業費(千円)	21,943	18,180	総事業費(千円)	14,881	
市民1人当りの経費(円)	124	103	市民1人当りの経費(円)	84	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか 今後も市が実施すべき事業か	1. 廃止・休止による影響はない 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ⇒ ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☒ B:予算規模は現状維持とする ☐ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 世界遺産登録の取組については、4県市で連携し、事業内容・予算規模について取り決めていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、平成26年から実施してきた比較研究の成果をもとに、専門家等の意見を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進める必要がある。なお、新たなコンセプトがイコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できるかどうか、その可能性を見極めながら慎重に検討を続けていく。 普及啓発や情報提供の不足については、4県市で連携して対応を考える。	

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・比較研究の成果をとりまとめ、引き続き普及啓発に取り組む必要がある。 ・龍門石窟研究院(中国)との共同研究について、とりまとめを行う必要がある。 ・比較研究の成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。	
課題解決のために 行った平成30年度 (2018年度)の取組	・世界遺産登録に結びつくコンセプトの再検討の資料とするため、百八やぐらの基礎調査を行った。 ・平成29年度にやぐらの起源をさぐるために行った、龍門石窟研究院(中国)との学術会議の内容を報告書にまとめた。 ・平成27年度、28年度に実施した連続講座及び報告会の内容をまとめた冊子「鎌倉の文化財、その価値と魅力～比較研究から見えたもの～」を改訂・増刷し情報発信を行った。 ・平成29年度に実施した講演会「やぐらの起源をさぐる」の内容を冊子にまとめて普及啓発の資料とした。 ・成果を取りまとめたものを準備状況報告書として文化庁に提出した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・比較研究の成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。 ・指摘されている普及啓発や情報提供の不足について、検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

[illegible]

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	暫定リスト掲載の文化遺産の動向も見極めながら、取組を進めていく必要がある。
---------------------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)		R01(2019)		
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	目標値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

指標の内容	講演会等の実施回数					単位	回	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
	実績値	1.0	4.0	9.0	1.0	0.0				
	達成率	100.0%	400.0%	900.0%	100.0%	0.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成30年度は、イコモスからも評価を得られたやぐらの基礎調査を行い、コンセプトの再構築に向けた検討資料とすることができた。これまでの比較研究の成果とも合わせて、新たなコンセプトの検討を慎重に進めていく。 市民・県民に対する普及啓発の機会の創出については、4県市で連携して検討を進める。
------------------------------	--